



しののめYMCAこども園

園だより

2018年度7月号

発行者：こども園園長 堀江和広

聖句 「互いに愛し合いなさい」

わたしがあなたがたを愛したように、互いに愛し合いなさい。

これがわたしの掟である。

7月の聖句 「主よ、…わたしたちにも祈りを教えてください」

ルカによる福音書 11章1節

毎日、園児たちが笑顔で登園する姿を見る度に嬉しく、また日々の成長を感じます。

元気な声で「おはようございます！」と園庭へ走り込んでくる園児。また何かあったのか不機嫌な表情で「おはようございます……」と歩いてくる園児。まだまだ恥ずかしくて「おはようございます」と言えず、ただ「ニコッ！」と微笑んで通り過ぎる園児……子どもたちの朝の表情は様々です。

登園は子どもたちにとって日常生活のひとつですが、今、その「日常生活全体の重要性」が言われています。それは、私たちが子どもの頃に過ごした、当たり前の生活スタイル、すなわち「普通の日常生活」だと言われています。

「おはようございます」「いただきます」「行ってきます！」「いってらっしゃい！」「お帰り～！」

「ただいま～！」「今日は楽しかった？」「どんな事したの？」「今夜のご飯はなに？」

「明日は何するの？」「お風呂入りますよ！」「おやすみなさい」……。

私たちが子どもだった頃の生活には沢山の会話があり、また大勢の人との関わり合いがありました。その環境のなかで、「自分の存在を確信する」事ができたのだと思います。

また私たちは、相手と向かい合い、自分の気持ちを直接相手に伝えることをしました。会話をしながら、相手の目や口元、表情全体をみて、何を思っているのか推察することをしました。

しかし今は、文字や絵を送信して自分の思いを伝えることが中心です。そこには相手の表情は無く、送信者の一方的な想いや考えしか存在しません。自分では言ったはず、伝えたはずなのに……この感じ方や捉え方が双方の思い違いに繋がるのでしょうか。

夏に向けてご家庭で過ごす時間が増えますが、今まで以上に、ご家族で過ごす時間を大切に「会話の楽しさ・おもしろさ」を子どもたちに伝えていっていただきたいと願っています。

園長 堀江和広